

ASEAN事業戦略紹介 岐阜信金セミナー「EPA活用を」



EPA、FTAの活用をテーマにした
セミナー＝岐阜市鶴舞町、ワークプラ
ザ岐阜

岐阜信用金庫は17日、取引先などの海外展開を支援する海外ビジネスセミナーを岐阜市鶴舞町のワークプラザ岐阜で開いた。中小企業基盤整備機構海外販路開拓支援シニアアドバイザーの西村修二

氏が「EPA（経済連携協定）／FTA（自由貿易協定）を活用したアセアン事業戦略」と題して講演した。

同機構中部本部との共催。同金庫は年に4、5回セミナーを開いて

業の担当者ら約20人が参加した。

西村氏は、日本の対中国、対東南アジア諸国連合（ASEAN）の直接投資の状況などを説明。「近年、中国は政治リスクのほか、人件費が高騰しており、日系企業の投資先が中国からASEANにシフトしている」と述べた。

また、EPAやFTAを利用し関税コストを削減する貿易の事例を紹介。「EPA、FTAをフル活用した海外の事業展開も一つの手法」と話した。